

■佐賀地域集落整備事業への補助金 166万円

馬地、上分、藤縄、熊井、不破原、川奥、佐賀橋川、市野瀬の8地区の集会所のシロアリ駆除と雨漏り修繕

■もどりガツオ祭への補助

100万円  
毎年10月に開催の同祭りにテントなどの備品の補助。  
財源は地域振興財団からの100%補助。



もどりガツオ祭 (佐賀地区)

## 国保会計 1億1200万円の大赤字

平成25年度国民健康保険  
事業特別会計補正予算

平成24年度国民健康保険事業特別会計の決算見込みで、

歳入が歳出に対して1億1200万円の不足が生じることとなり、平成25年度国民健康保険事業特別会計予算の繰上  
充用(※)を先決処分した。

繰上充用は昨年度に続き2年連続となり、国保財政の健全化が大きな課題となっている。この課題解消に向けて、平成24年度に健康増進計画、特定健診実施計画などを策定するとともに、現在、医療費適正化の計画の策定を進めている。(賛成・全員)

※翌年度の歳入を繰り上げて充用すること。

### 質疑

Q 矢野 昭三議員

国保税の引き上げには行政としてどれだけ努力したとい

う説明が要るが、どういう努力をしたのか。

A 大西 町長

国保特別事業の課題は、歳入の確保、歳出の抑制並びに累積への対応の3点がある。

まず、歳入の確保については、不均一課税から均一課税に統一したときに、相当の税の軽減となり、4億円程度あった税収が2億円強となり、現在の国保は、税に見合った運営になってないと思っております。いずれにしても、税のお願いと、前回、処理をした法定外繰入も考えていかなければならないと思っております。

歳出の抑制については健康増進が大きな柱、かつ黒潮町の特性だと考え、平成24年度に健康増進計画を策定し、それに基づき、さまざまな取り組みを行っている。

また、昨年度から始めた医療費の適正部会だが、こちらは、健康増進以外での医療費

の適正化について、幡多医師会の方にお世話になりながら検討している。

当面の喫緊の課題としては、その単年度の実質収支をまず黒字に持っていくことが、最大の課題だと思っております。



大西 町長

Q 矢野 昭三議員

赤字1億1200万円の理由は何か。

A 松田 住民課長

国庫補助金の補助率等の減額がまず一つあるが、それに見合う分の県の増額は一部あった。次に、共同拠出金の減、そして昨年度は基金が残っていたので基金の繰り入れがあったが、平成24年度は基金の残が全くない状態。これらの歳入減等により赤字となった。

Q 藤本 岩義議員  
昨年度の国保税金の未収額は。

A 金子 税務課長

一般被保険者分は、1777万円強。滞納繰越分を合わせた平成25年度への滞納繰越額は6491万円強。



金子 税務課長

Q 山崎 正男議員

国保会計の中長期の見通しは。

A 松田 住民課長

実際の赤字額が単年度で7千万円近くになっているので、平成25年度も同じ程度の赤字が出る可能性もあり、それを一括短期で解消するのは中々難しいと思われるので、中期的なものも含ませたシミュレーションを提示し、協議を願う。